

「大学」が 千里山へ やってきた!



2021. 4.1 | 木 | - 2.28 | 月 | 10:00
| 16:00

関西大学千里山キャンパス 簡文館(博物館)1階 年史資料展示室
休館日 日曜・祝日・大学が定めた休日(詳細はお問い合わせください)
入館料 無料



1927(昭和2)年に完成した大学本館

関西大学年史編纂室
関西大学は2022年に大学昇格100年を迎えます

〒564-8680 大阪府吹田市山手町 3-3-35
TEL : 06-6368-1062 (直通) URL : www.kansai-u.ac.jp/nenshi/
E-Mail : nenshi@ml.kandai.jp

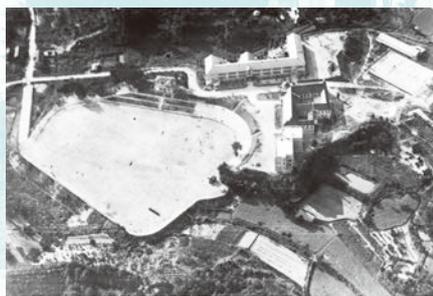
「大学」が

千里山へやってきた!

2022(令和4)年6月、関西大学は「大学令」による大学昇格100年、ならびに千里山キャンパス開設100年の佳節を迎えます。それを踏まえ、大阪市内の福島から北摂の千里山に校地を求めた理由や昇格後の変化などに焦点をあわせた企画展を開催いたします。

関西法律学校として創立した本学は、1905(明治38)年から「私立関西大学」として「大学」の名称を使っていました。しかし、実態は「専門学校令」に基づく学校でした。1918(大正7)年12月6日に「大学令」が公布され、帝国大学だけでなく、公立や私立の大学設立が認められるようになりましたが、そのためには、国に納める供託金をはじめ、基準を満たす校地の確保や校舎の建築、教員の採用や学則の整備など、大学令に定められたさまざまな条件を満たす必要がありました。当時の大学首脳陣は、関西大学を高等教育機関として存続させるため、募金活動をはじめ、大変な苦勞を重ねました。

2021年度の年史資料展示室企画展は、「「大学」が千里山にやってきた!」と題し、千里山学舎開設前後のエピソードを8枚のパネルで解説するとともに、大学昇格にまつわる資料をご覧ください。千里山キャンパスの開設当時を振り返ることで、今に至る発展の経過に想いを馳せていただければ幸いです。



[写真]

(上から)

- ・1928(昭和3)年に完成した図書館
- ・1922(大正11)年ごろ建築中の予科校舎
- ・昭和初期の千里山学舎航空写真

年史編纂室では、関西大学(廃止校・併設校を含む)に関する文書・写真、その他さまざまな資料の収集、整理、保存を行っています。こうした資料に関する情報をお持ちの方は、年史編纂室までお知らせください。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

- 卒業証書、卒業アルバム、学生証など
- 大学その他関連校や学生団体の刊行物、印刷物など
- 校章・襟章、学生団体のバッジなど

特に次の学校の資料を探しています

- | | |
|----------|-----------|
| 関西大学予科 | 関西工業専門学校 |
| 関西甲種商業学校 | 関西大学短期大学部 |
| 第二商業学校 | 北陽商業学校 |



関西大学千里山キャンパス
阪急千里線「関大前」駅下車 徒歩10分
※お車でのご来場はご遠慮ください。